



市埋蔵文化財センター

☎ 23-8020

(25)

DEKI DEKI
たいむとらべらー

買い物帰りに環状列石でも

縄文時代の遺跡では「環状列石(ストーンサークル)」と呼ばれるものが発見されることがあります。大きな自然石を丸い形に並べたもので、祭祀を行なった場所やお墓の跡だと考えられています。

東北では秋田県の大湯環状列石や青森県の小牧野遺跡(いずれも国指定(特別)史跡)などが有名ですが、実は二戸市内にも環状列石を見られる場所があります。

米沢のショッピングセンター「ニコア」駐車場の南側に大きな石が並んでいるのをご存知でしょうか。これは店舗建設の際に行なわれた緊急発掘調査によって発見された環状列石です。今から約4000年前に作られたもので、巨大な立石の周囲に石を並べた配石墓(お墓)を円形に並べたものです。大変貴重な資



保存された環状列石

料であるため、建物予定地から移動し、敷地内に保存・公開されることとなりました。保存されたのは一部分で、直径10メートルですが、調査により確認されたのは、同様の規模のものがさらに2箇所、またそれらを囲う大規模の列石が二重に確認され、一番外側の列石の半径は推定100メートルを超える巨大なものでした。ストーンサークルからは甕棺(土器の棺)が出土しています。また3カ所の列石に対応して、儀式を執り行ったと考えられる高床式建物が見つかっており、その建物からは供え物をした器台という特殊な土器が出土しています。集落が存続してゆく中で、死期を迎えた仲間を手厚く弔った痕跡として環状列石が残されたのでしょうか。

お買い物した後、時間がありませんでしたら少し足を伸ばして、縄文人の残した神秘的な造形をひととき堪能してみたいいかがでしょうか。

こみゅてaたいむ

34期目

地域づくり助成事業最終報告

3月14日(日)シビックセンターカルチャールームにおいて「第9回カシオペア連邦地域づくり助成事業最終報告会」が行われました。これは、二戸地域を中心に活動するNPO法人「カシオペア連邦地域づくりサポーターズ」の主催によるもので、21年度に助成を受けた二戸地域の地域づくり団体(全11団体)が1年間の活動を報告しました。

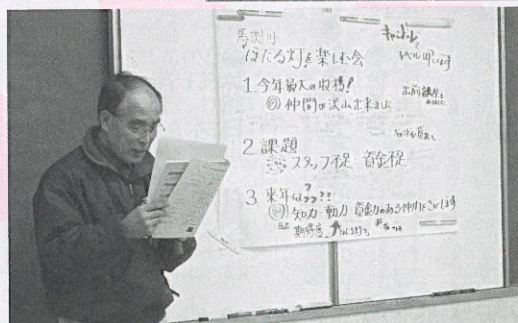
助成は1団体あたり5万円～20万円で、二戸市からは、「ほたる灯り」を楽しむ会(2回目)、二戸健康マージャン愛好会、Waの会、浄法寺漆を愛する素人衆(いずれも1回目)の4団体からの報告がありました。

どの団体もそれぞれの地域でユニークな地域づくり活動を展開し、龍谷大学教授の脇田健一氏をはじめとする4人の審査委員の方々から厳しくも暖かい講評を受けました。

最長3年間の助成を受け、このたび卒業し新たなステップを踏み出した団体は、九戸村の「英会話サークル English Night」1団体でした。今後の活躍に期待大です。

この事業はこれまで、二戸地方振興局および二戸地区広域事務組合からの支援を得て行われてきましたが、22年度は二戸地区広域行政事務組合からの支援を得て継続される予定です。(募集要項など詳細は未定です)

これから地域づくり活動を始めようと思っている人、また少しでも関心のある人は注目してみてください。



「ほたる灯り」を楽しむ会の報告

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線652)まで